



ふるさと

ウォッチング



銀賞受賞
マーチングバンド・パトントワリング全国大会
12月18日・19日の2日間、埼玉県さいたま市スーパースタジアムで開かれた、第32回マーチングバンド・パトントワリング全国大会に島根県大会と中国予選を勝ち抜いた雲南市立三刀屋中学校吹奏楽部（永見亜門部長・3年生）が出場し、見事銀賞に輝きました。昨年に引き続き2回目の出場となる今回は、映画「ウエストサイドストーリー」の中から曲目を選び挑戦しました。吹奏楽部の指導にあたってきた桜内教昭先生は「全国大会という大舞台で生徒たちも精神的に強くなったと思います。今年も全国大会出場と金賞受賞めざして練習に取り組んでいきたくていました。」と抱負を語っていました。また、12月22日には永見部長らが速水市長へ銀賞受賞の報告に訪れました。



ウォッチング!
クリスマススポーツ大会
12月23日、雲南市加茂B&G海洋センターを会場に、遊学クラブ「クリスマススポーツ大会」が開かれ、参加者はカローリングで交流を深めました。カローリングとは、冬季オリンピックの正式種目で水上競技の「カローリング」を、床の上でもできるよう改良したもので、子供から高齢者まで手軽に楽しめる軽スポーツです。ゲームはジェットローラーと呼ばれるホイール付きの直径約25cmの円盤を相手チームと交互に投げ、その得点（標的に近い位置ほど高得点）を競います。競技には大人と子ども合わせて36人が参加し、6チームに分かれた参加者は、1投ごとに集中力を高め、ローラーを投げていきました。

ふるさとの伝統行事でにぎわう日
深野神楽舞い納め
吉田ふるさとセンター（田井公民館）で12月19日、深野神楽の舞い納め公演があり、遠くは広島県、大社町などから訪れたおよそ150人が優雅で華麗な舞を堪能しました。深野神楽は後継者不足などにより途絶えていましたが、昭和61年に神楽保存会が再結成され、現在15人のメンバーで週2回の練習を行っています。この日は深野神楽のほか、吉田中学校神楽クラブ（8人）と深野神楽子ども教室（田井小学校の23人）のメンバーも出演し、剣舞や八戸（八岐大蛇退治）などの演目を披露。会場は、毎年開かれるこのイベントを楽しみにしているお年寄りや子どもたちの演技を見守る保護者など大勢でにぎわいました。

一年の健康は元旦から
元旦マラソン
今年で30回を迎える掛合町の元旦マラソンが行われ、90人の参加者がいきいきコース（3km）とらくらくコース（1km）に分かれ力走しました。出発に先が行われた開会式では、掛合総合センターの土山幸延所長が「降り積もった雪をしっかりと踏み込んで、今年の健康を願いながら走ってください」と激励しました。ときおり雪が降りしきる中、掛合体育館を出発した参加者は、それぞれのペースで走り初めをし、ゴールの狭長神社へ到着すると全員で一年の無病息災を祈念しました。

新春を彩る左義長（とんどさん）
大東町小河内自治会
正月の風物詩であるとんどさんが各地で行われ、そのうち大東町海潮の小河内自治会（新田和徳会長）では、1月9日、左義長と呼ばれるとんどさんがぎやかに行われました。同自治会のとんどさんは弘化元年（1844年）以前から始まったとされており、正月の神事として現在に受け継がれています。当日は、午前中に当屋さん（世話人）が自治会内の家庭を歳徳神の額さんを担ぎ、獅子頭、天狗のお面、囃子（笛）をもって家族の厄払いをしてまわり、午後は自治会集会所で地元小河内神楽社中による神楽や来年の当屋さんへの「当屋渡しの儀式」などが行われました。そして、最後にとんど囃子を合図に神木に点火され、参加者全員で家内安全、五穀豊饒、無病息災を祈願しました。



無事故無違反を願う
新春交通安全親子たこあげ大会
1月9日、雲南市木次勤労青少年ホーム（市役所隣り）を会場に「第13回新春交通安全親子たこあげ大会」が開催されました。この大会は、大原郡交通安全協会八日市支部と八日市青少年育成協議会主催の新年恒例行事で、交通安全標語を付けたたこ作りや交通安全教室を通して今年1年間の交通事故ゼロを願います。参加した親子など70人は、同地区の木色健二さんから指導を受けながら親子で力を合わせ、たこ作りに挑戦しました。この日はあいにくの天候とグラウンドコンディションのため、たこあげは中止となりましたが、参加者は思い思いのたこの出来ばえに満足するようでした。



ふるさとウォッチング
ふるさとウォッチングは、ふるさとをのぞくためのウォッチングです。ふるさとウォッチングは、ふるさとをのぞくためのウォッチングです。ふるさとウォッチングは、ふるさとをのぞくためのウォッチングです。